

# 令和4年度 放課後等デイサービス ばくの樹 自己評価表

R5年1月24日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しているが、子どもが成長し、プレイルームは狭く感じられる。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の基準は満たしているが、職員は足りないと感じることもある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化されていませんが、現在のご利用者様は、配慮の対象ではありません。また、賃貸物件のため、改善が難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			今年度は係分担の計画や振り返りを非常勤も含めて、行った。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを参考にして、話し合いを持っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	昨年に引き続き、検討課題である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は常勤職員に関しては対面で実施されている外部研修に参加した。また非常勤職員は、ばくの実と合同で内部研修を実施した。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			基本は常勤がチームで実施している。大きな行事に関しては非常勤も参画に加わる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の興味のある活動や季節の行事を取り入れている。ただ、固定した活動プログラムで繰り返し取り組むことも、子どもの成長を促す上で重要と考え、敢えて固定化したプログラムも取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団で取り組む活動に加え、勉強タイムや自分 BOX タイムなど、個別で取り組む活動を取り入れ実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	業務終了時間がそれぞれ違う事もあり、支援終了後の話し合いは出来ていない。次の日の打ち合わせや職員会議の中で、振り返りや連絡等を行っている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画や経過表の作成時に参照し、支援の参考にしている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			複数組み合わせさせて支援を行う様に努めているが、日によっては、全員に実施する事が難しい日もある。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今年度は対象者なし。以前は児童発達支援や保育所に聞き取りに出向いていた。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			昨年度、卒業のご利用者様に対し、卒業後の進路先に相談支援事業所を通して支援内容の情報提供をした。今年度も保護者の了解を得て、実施する予定。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度は発達障害者支援センターの研修に常勤全員が参加した。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				実施していません。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			今年度は自立支援協議会の災害対策プロジェクト研修に参加した。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	法人内で検討したが、現段階では難しい。

保護者への説明	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談に応じているが、適切かどうか判断が難しい。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は、保護者会を再開した。参加しやすい活動を検討したい。
責任等	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			適切であるかどうかの判断は難しいが、できる限り早い対応を心がけている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚優位の方に対し、文字でその日の流れを説明することがある。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	提案はあるが、実施は難しい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員全員が隙間時間にマニュアルを閲覧できるように、ファイルを作成している。今年度は職員会議の中で、マニュアルの配布を行った。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回以上、地震と火災を想定した避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		3月に他の事業所の職員を講師に招いて実施した。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、対象者がいないため、計画には記載していない。やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織で身体拘束の指針に定めた内容と照らし合わせ、保護者に同意を得たうえで行う。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師からの指示書ではなく、保護者様の説明や話を聞いて対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ケース会議の中で確認し、改善策を共有している。